

○市民意識調査について

・過去の調査との比較

	平成 27(2015)年度	令和元(2019)年度	令和 5(2023)年度
調査表題	男女平等及び人権に関する市民意識調査	多様な性と人権に関する市民意識調査	
調査期間	H27.5.8～5.26	R1.8.5～8.26	R5.4 下旬～5下旬
調査対象	18 歳以上無作為抽出	18 歳以上無作為抽出	18 歳以上無作為抽出
調査方法	郵送配付・郵送回収	郵送配付・郵送回収	郵送配付・郵送回収 (Web 回答併用)
標本数	3000 人	3000 人	3000 人
有効回収数	950 人	722 人	
有効回収率	31.7%	24.1%	
設問数	35 問	36 問	

※令和 5(2023)年度は予定

・東京都及び多摩地域各市との比較

	調査時期	標本数(人)	回収率(%)	設問数	備考
東京都 男女平等	R2.11	4,000	49.8	15	
東京都 SOGI	R3.10	1,297	(回収数)	15	Web調査
昭島市	R1.7	2,000	43.3	34	
調布市	R2.11	3,000	47.3	37	督促 1 回
町田市	R3.4	3,000	42.9	37	
小金井市	R1.10	2,000	35.6	32	督促 1 回
小平市	R2.9	2,000	40.6	33	
日野市	R1.6	1,500	37.3	37	督促 1 回
東村山市	R3.8	2,000	43.9	36	
国分寺市	R2.8	3,000	33.5	23	Web 回答併用
福生市	R1.10	2,000	26.1	34	
狛江市	R1.5	1,500	41.7	30	
東大和市	R1.12	1,000	36.8	32	
東久留米市	R3.9	2,000	32.4	30	Web 回答併用
多摩市	R2.1	1,500	40.3	34	
国立市	R1.8	3,000	24.1	36	

※令和元(2019)年度以降の調査が対象

・計画上の課題に対する指標として用いている設問（計画 p.68 参照）

指標番号 ・ページ	指標内容	実績(%)	目標(%)
① p.39	「男は仕事、女は家庭」という考え方に「そうは思わない」という人の割合	H27:56.6 R1:58.6 ※1	R1:65.6 R5:74.6
③ p.86	男性の育児休業取得率	H27:5.5 ※2 R1:1.7 ※3	R1:13.0 ※4 R5:20.0
⑤ p.49	平日の1日のうち、仕事・学業に費やす時間が平均12時間以上の人の割合	H27:8.5 R1:5.7	R1:6.5 R5:4.5
⑥ p.130	DV等を受けたときに、どこにも相談しなかった(できなかった)人の割合 ※5	H27:38.5 R1:50.7 ※6	R1:28.0 R5:18.0
⑧ p.136	セクシュアル・ハラスメントを直接受けた経験がある、または受けた人を知っていると回答した人の割合 ※5	H27:26.0 R1:41.4	R1:23.5 R5:21.0
⑬ p.140	「LGBT(セクシュアル・マイノリティ)」という言葉(意味)を知っている人の割合	H27:37.1 R1:63.6	R1:55.7 R5:74.2
⑭ ※7	男女の役割が平等だと思う市民の割合	H27:43.6 R1:33.5	R1:48.0 R5:53.0
⑮ ※7	社会参画機会の男女比が適切だと思う市民の割合	H27:28.2 R1:25.8	R1:32.0 R5:36.0
⑯ p.118	あらゆる差別は基本的人権の侵害であり、是正されるべきだと思う市民の割合	H27:73.7 R1:77.8	R1:84.0 R5:95.0

※1:H27は「そう思う、どちらともいえない、そう思わない」の3択、R1は「そう思う、どちらかといえばそう思う、どちらかといえばそう思わない、そう思わない、わからない」の5択で、「そう思わない」の割合を実績値としており、単純に比較できない。

※2:H27の男性の取得率は1.0%だが、計画には誤って全体取得率5.5%を記載している。

※3:中間評価答申書(p.15)では、誤って市男性職員の取得割合を記載している。

※4:国の目標値を参考に計画上の目標値を設定しているが、国の目標値(取得対象者に占める取得者割合)と計画上の目標値(全体に占める取得経験者割合)とで不整合。

※5:過去の経験を尋ねる質問のため、経年変化を追うのが難しい。

※6:DV等を受けた人の割合は、H27が12.3%、R1が10.1%で、母数が少なく標本誤差が大きい。

※7:市政全般に関する市民意識調査(毎年実施)の項目。R2以降は設問がない。